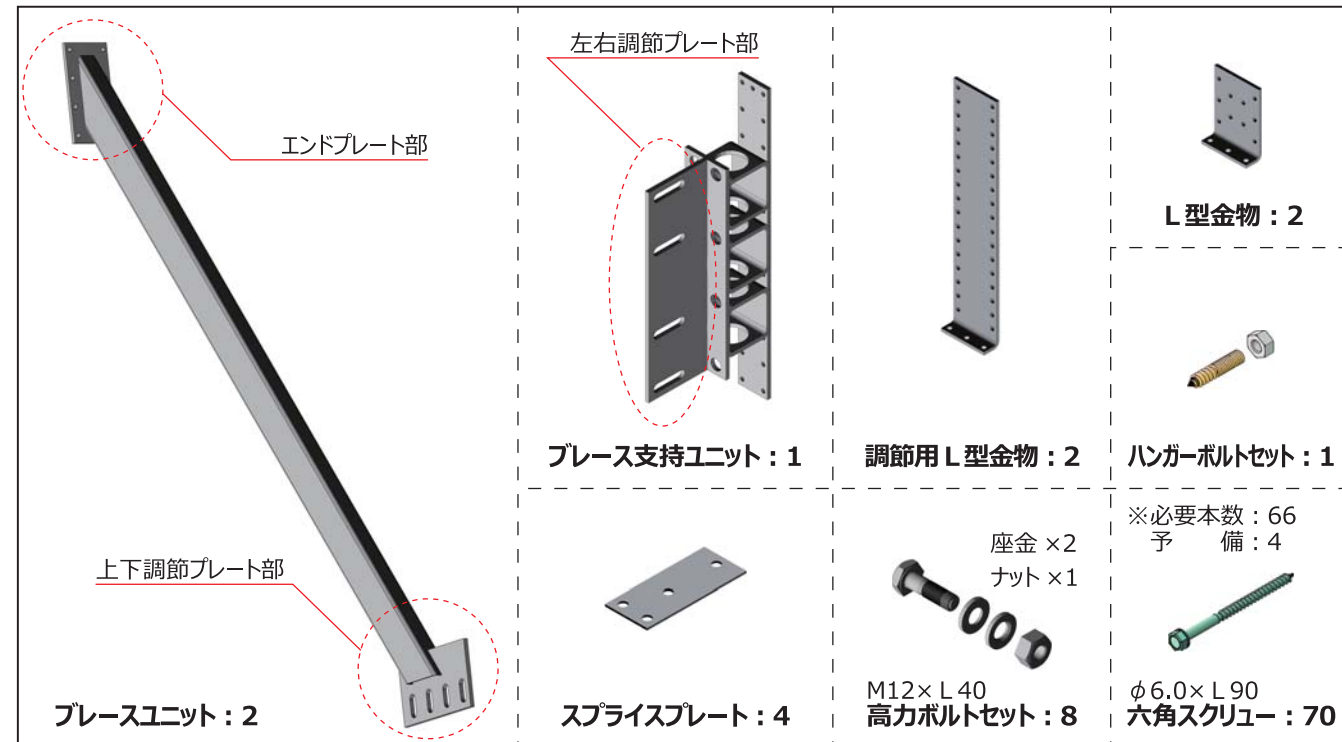


部品一覧

部品の数量をチェックしてください。



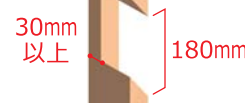
必要な道具等

- ☐ インパクトドライバー
- ☐ インパクトドライバー用ロングジョイント
- ☐ 六角ソケット（インパクト用 **10mm**）
※10cm 程度の長さがあると使いやすいです。
- ☐ トルクレンチ（**160N・m** で締付可能なもの）
- ☐ トルクレンチ用ソケット
（**22mm** / トルクレンチとの接合部：**sq19mm**）
- ☐ さび止めスプレー（カチオン補修スプレー）
- ☐ メガネレンチ（**22mm**）又は
モンキーレンチ（**24mm まで** 使用できるもの）
- ☐ さしがね（矩尺）
- ☐ スケール（コンベックス：5.5m 程度のもの）

間柱の設置方法について

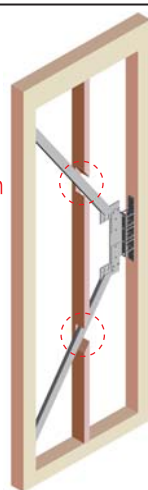
【間柱の切欠き寸法】

高さ：180mm（ブレース芯から上下に90ずつ）
幅：30mm 以上残す



【注意事項】

- ・切欠きは現場にて行ってください。
- ・切欠きは外壁側としてください。
- ・間柱の切欠き部とブレースを密着させないでください。
- ・切欠きの上下部分は、ブレースと平行に切り欠くことを推奨します。
（地震で動いた時に一定のクリアランスを確保できるため）



FORWARD
Housing Solutions

フォワードハウジングソリューションズ株式会社

〒540-0037
大阪府中央区内平野町 2 丁目 1-9 シグナスビル
TEL:06-6940-5681 FAX:06-6940-5677

KブレースII 施工説明書

Ver.1.0



安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですので、必ずお守りください。

- 所定の取り付け方以外の方法で取り付けしないでください。性能を正しく発揮できないおそれがあります。
- 不安定な場所に置かないでください。また、立てかけないでください。転倒等により、けがをする原因になる可能性があります。



施工上のご注意

- 六角スクリューの施工にあたっては、同じ穴に2度打ち（打ち直し）しないでください。
 - ◆ 仮に斜めに入った場合には、そのまま打ち込む。
 - ◆ 予備穴がある場合は、予備穴への打ち直しをしてもよい。
 - ◆ 打ち直しは1本のスクリューあたり1度に限る。
- 取り付け予定位置に大きな節等があり、取り付けが困難と思われる場合には、取り付け位置の変更を検討してください。

施工手順

1 取り付ける柱の次の位置にハンガーボルトを打つ。

- 横架材内法寸法の 1/2 から 222.5mm 上
- 柱幅の中央

222.5

横架材内法寸法 1/2 高さ

2 ナットを外し、ブレース支持ユニットの穴Aにハンガーボルトを通し、ナットで仮留めする。

穴A

3 柱の側端から★の位置にマークを付け、ブレース支持ユニットをマークに合わせ、柱に六角スクリュー 14 本で接合する。

※中央部から順に留め付ける。

優先的に留め付ける。(8 本)

※節等で適切に打ち付けられない場合は、予備穴を使い当該本数を補う。

【側端からの位置：★】
105角柱：27.5mm
120角柱：35.0mm

4本分を留め付ける。

2本分を留め付ける。(残り 2: 予備穴)

6 ブレース支持ユニット側の柱頭・柱脚に、L 型金物を 4 で付けたマークに合わせ、六角スクリュー各 3 本で、梁 / 土台に接合する (鉛直方向)。

※中央の穴から順に留め付ける。

2 1 2

5 エンドプレート部側の柱頭・柱脚に、調節用 L 型金物を 4 で付けたマークに合わせ、以下の順に六角スクリューで仮留めし、位置が決まった後、本締めして梁 / 土台に接合する。

【仮留め】
①鉛直方向中央の穴：1 本
②仕口から一番遠い穴 (水平方向)：1 本
③鉛直方向の両端の穴：2 本

【本締め】
①～③の各スクリュー

2 3 1 3

4 L 型金物及び調節用 L 型金物を取り付ける柱頭・柱脚に、柱の側端から★の位置にマークを付ける。

柱脚 - 調節用 L 型金物の例

柱頭 - L 型金物の例

【側端からの位置：★】
105角柱：17.5mm
120角柱：25.0mm

7 ブレース支持ユニット側の柱頭・柱脚に、L 型金物を六角スクリュー各 8 本で柱に接合する (水平方向)。

※中央部から順に留め付ける。

予備穴
※節等で打ち付けられなかった場合は、予備穴を使い当該本数を補う。

2 1 2

8 ブレース支持ユニットの左右調節プレート部とブレースユニットの上下調節プレート部を、スプライスプレート 2 枚で挟み高力ボルトセット 4 本で手締めにて仮留めする (土台側・梁側両方とも)。

※使用する穴の位置は、別紙資料 B に従う。

※高力ボルトで締め付ける各接合面に、砂・木くずなどの異物を付着させないように注意してください。接合不良により、設計した性能を発揮できなくなる危険性があります。

2 1 2

9 ブレースユニットのエンドプレート部の穴と、調節用 L 型金物の穴を合わせて、六角スクリュー 8 本で柱に接合する (柱頭・柱脚両方とも)。

※使用する穴の位置は、必ず別紙資料 A に従う。

12 締め付け作業を行った部位のボルト及びナット部へ、さび止めスプレー (カチオン補修用スプレー) を吹き付ける。

※間柱について
→ 裏面：「間柱の設置方法」参照

11 よじれが無いことを確認の上、8 で仮留めした高力ボルトセット 4 カ所を、トルクレンチで締付トルク **160N・m** で締め付ける。

※土台側・梁側両方とも行う。

10 9 の調節用 L 型金物に、更に六角スクリュー 3 本を使い柱に接合する (柱頭・柱脚両方とも)。

※使用する穴の位置は、必ず別紙資料 A に従う。

優先的に留め付ける。(2 本: 最も土台 / 梁側の穴)

※節等で適切に打ち付けられない場合は、残りの穴を使い当該本数を補う。

任意の 1ヶ所を留め付ける。

ブレースユニットのエンドプレート&調節用 L 型金物六角スクリュー位置表

調節用L型金物		横架材間距離(mm)							
		以上	2,480	2,520	2,560	2,600	2,640	2,680	2,720
穴位置	未満	2,520	2,560	2,600	2,640	2,680	2,720	2,760以下	
1	-	● ●	× ×	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎
2	-	● ●	× ×	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎
3	-	● ●	● ●	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎
4	-	● ●	● ●	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎
5	-	● ●	● ●	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎
6	-	● ●	● ●	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎
7	-	● ●	● ●	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎
8	-	× ×	● ●	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎
9	-	○ ○	× ×	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎
10	-	○ ○	○ ○	× ×	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎
11	-	○ ○	○ ○	○ ○	× ×	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎
12	-	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎
13	-	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	× ×	◎ ◎	◎ ◎
14	-	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	◎ ◎	× ×
15	-	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
16	-	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
17	-	△ ○	△ ○	△ ○	△ ○	△ ○	△ ○	△ ○	△ ○

【凡例】

- ：エンドプレート部と貫通させる穴
- ◎：エンドプレート以外の優先位置
- △：施工手順 5 の②で使用する穴
- ：使用可能な穴
※ただし、上下で近接させない
- ×：使用しない穴

：エンドプレートと
重なる部分を示す

手 順

- ① 取り付け位置の横架材間距離が該当する列を確認する。
- ② ●・◎・△の位置を確認する。
- ③ ●・◎・△と○で合計 12 ヶ所となるように、○のなかから打ち込み位置を選定する。

注意事項

- ※ 上表は梁側の場合の表とし、土台側の検討時には上下反転させて検討してください。
- ※ ○の中から打ち込み位置を選定する際には、上下で近接しないように選定してください。

ブレースユニットの上下調節プレート & ブレース支持ユニットの左右調節プレートの接合

